

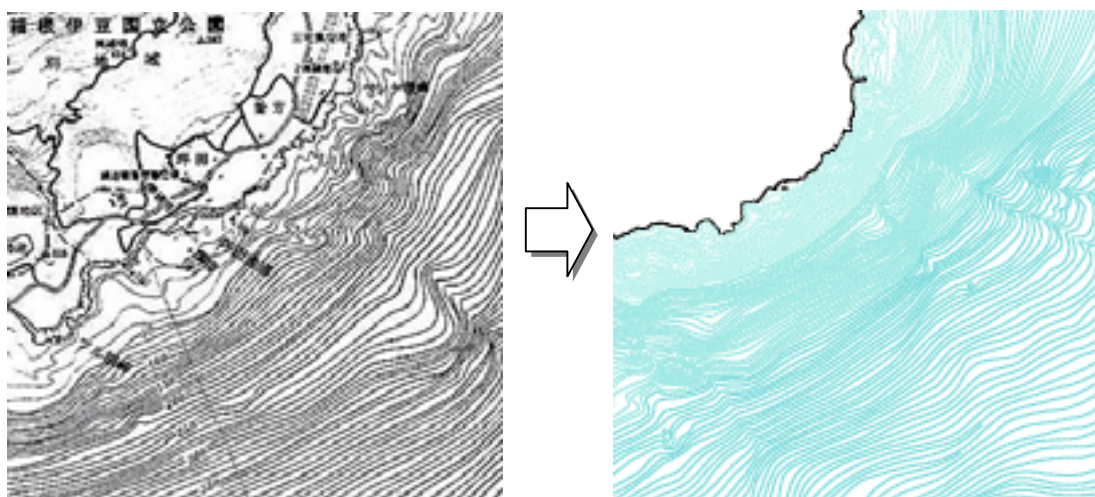
第3章 国土交通省の取り組み

1 国土交通省総合政策局実施事業について

1 - 1 海域地理情報システム基盤情報の整備

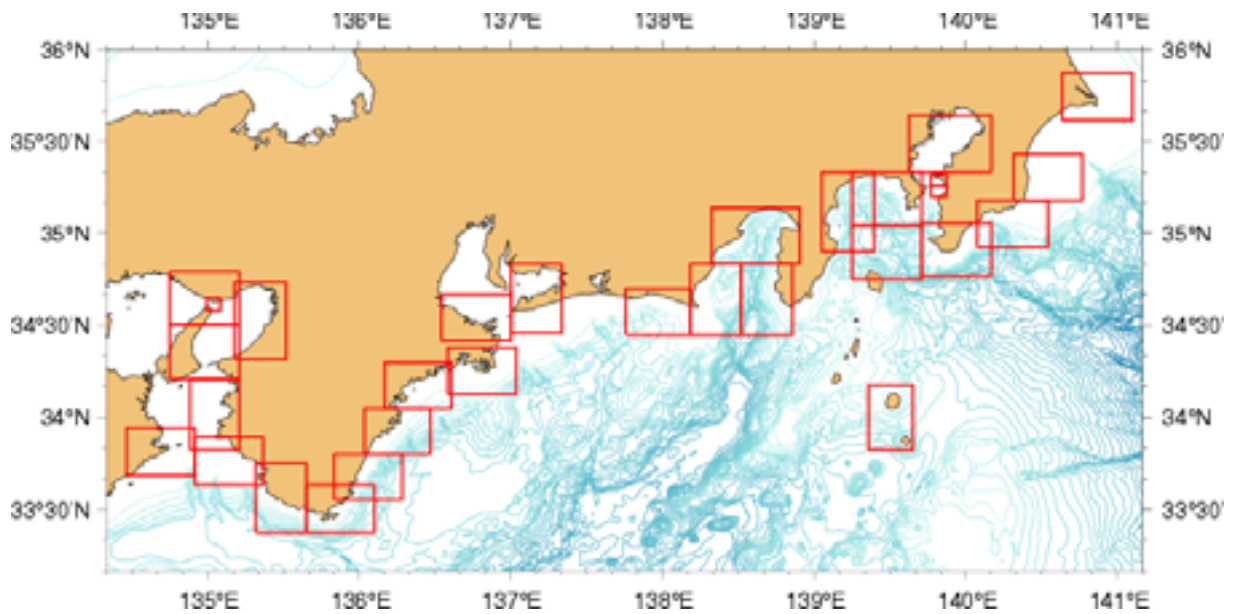
海上保安庁では、国土空間データ基盤として海域地理情報システム基盤情報を整備するため、水路部が保有するアナログデータの数値化を進めており、平成12年度には海域地理情報システム基盤情報（沿岸の海の基本図の数値化）の整備を完了した。

図3 - 1 - 1 沿岸の海の基本図の数値化



平成12年12月現在で提供可能な海域は下図に示す30海域である。他の海域についても順次提供予定である。

図 3 - 1 - 2 データの提供可能地域



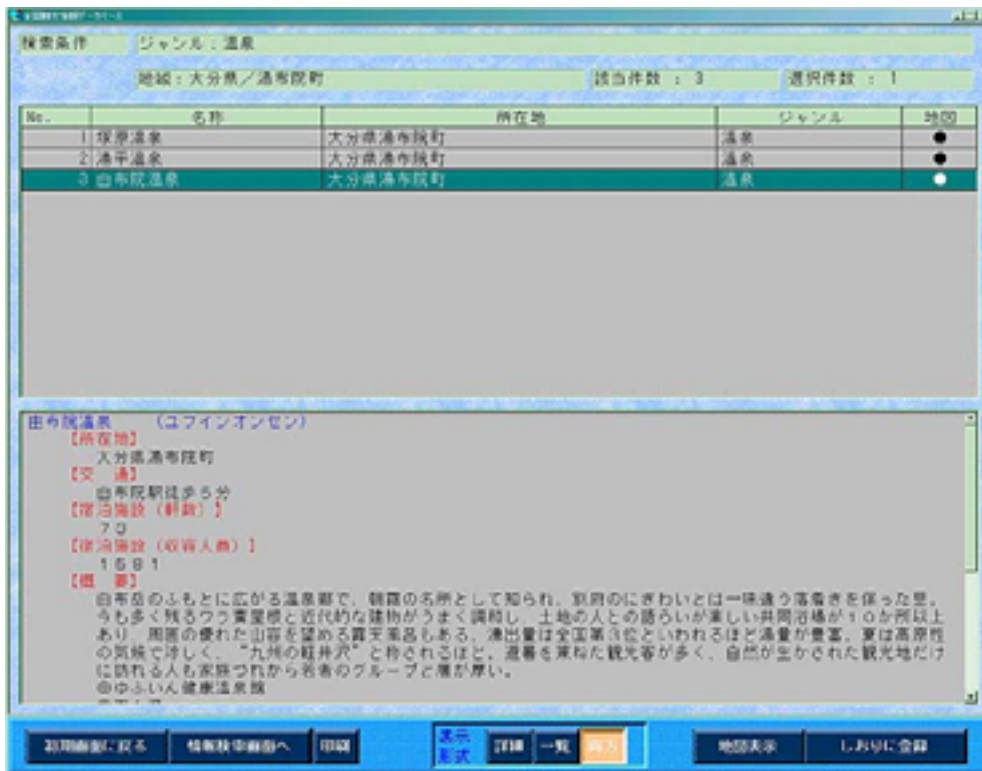
1 - 2 次世代観光情報基盤整備プロジェクト

次世代観光情報基盤整備プロジェクトにおいて日本観光協会が整備した全国約 12 万 9 千件の観光情報の中から、GIS モデル地区実証実験の行われた静岡県、岐阜県、大阪府、高知県、福岡県、大分県及び沖縄県の約 1 万 8500 件の観光情報を提供した。

これらの観光情報は、史跡、高原、温泉、ハイキングコース、観光タクシー・ハイヤー、公的宿泊施設等の 71 ジャンルに分けられており、各項目ごとに名称、所在地、交通等についての情報を保有している。

平成 12 年度には、これらの各項目について位置情報（緯度経度情報）の付与を実施、完了した。

図 3 - 1 - 3 全国観光情報データベース事例（その 1）



出所：(社)日本観光協会

図 3 - 1 - 4 全国観光情報データベース事例（その 2）



出所：(社)日本観光協会

図は(社)日本観光協会で整備・配布している全国観光情報データベース(西日本版)の例である。